

練習題 VI § 23-30

1. bhartā

bhartṛ- m. 夫?

↑
親縁関係

Sg. N. 夫 ā に
なる

param

↓

param

adv. それを
さらに
しかし

「王の」で何か?

nāryā

↓

nāryāḥ

↓

nāryās

~~Inst.~~

(Ge.) or Ab.

妻の

bhūṣaṇam.

最高の装飾である。

2. nagaryām

Puṣkarāvatyām

↑
Puṣkarāvatyām

Puṣkarāvati

f. Sg. L. 地名

mama

aham
(わたし)の
単数属格。

人称代名詞

svasā

↑
sister
だけど
変化は
男性と
同じ?

Śrutasenasya

Ge.

bhrātrā

brother.

pariṇītā.

前置詞 pari + nī- の
過去受動分詞 (§.20I)

私の姉妹は Śrutasena の
兄弟と結婚した。

3. nārī bhartuh samīpam agacchat.

Sg. N

adv.
〜のそばに
Ge. 支配

gam- (行く) の能動態
過去, 単数, 3人称。

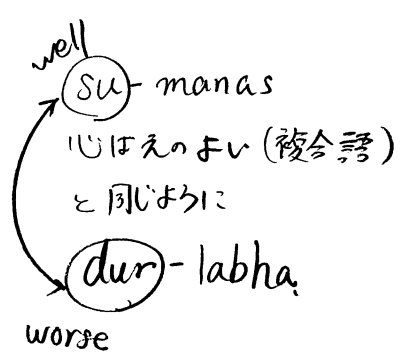
妻は夫のそばに行った。

4. amṛtam durlabham nṛnām.

名

形

mṛta 死んだ
amṛta 死んでいない
n. Sg. N. ?



Pl. Ge.
~~獲得好?~~

amṛtaは人々にとっては
得難い。

5. sampatteś ca vipatteś ca daivam eva kāraṇam.

幸福 Ge 不幸 Ge 運命 原因

幸福と不幸の原因は、
運命にほかならない。

6. śātror api guṇān vaded doṣāṃś ca guṇor api.

Ge.

Pl. Ac.

vad-(言う)の
能動態・願望法
単数・3人称
「はは言うべきで
ある。」

§.12 II.

Pl. Ac.

ABca

韻文のために
語順の母音
の数とかの
が大事

guru?
§.23.

p.146

conj.

・もまた
-{さえも
◎たにえへとも
・数詞+api
↓
すべて

主語はあるか? → ない

定動詞は? → vaded

~~敵の美德も~~

人はたとえ敵の美德であれ、
師の弱点であれ言うべきである。
欠点

7. kanyā sakhibhiḥ sārḍham kṛīḍanti prasuptam ahim

少女は

女友達と

一緒に

kṛīḍ- (遊ぶ)
の現在能動分詞。
女性。

へんて

↓
形容詞扱い

nāpaśyat; ahinā daṣṭā bhuvi papāta.

§.5 I

paś- (見る) の能動態
過去・単数・3人称、

へんて

かまれて

大地に

pat- (落ちる → 倒れる) の
能動態・過去・単数・3人称

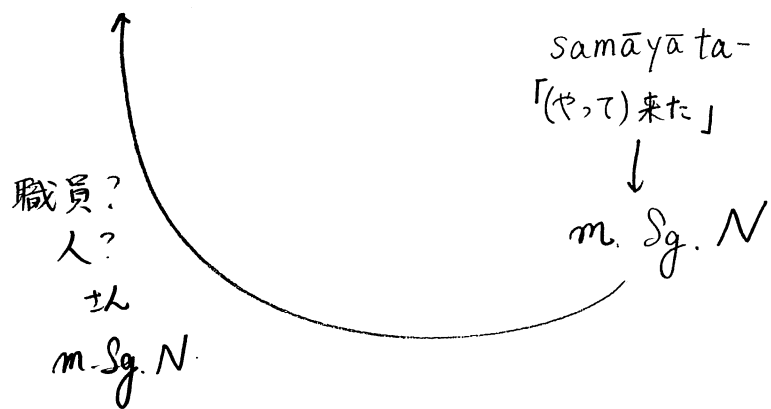
倒れた。

↓
na apaśyat

見なかった

少女は

8. kauliko rātrau samāyāto rāja putryoktah :



°putryā + uktah
 §. 5 II
 uktah → 語りかけられた。

p. 94 Loc. 4つ並んでいる?
 処格絶対節? §. 114 VII

tvayi jamātari sthite śatrubhir jito me pitā.
 「君」の処格 §. 47 「わたしの」 単数属格

あなたか 動かないらた
 のて

複文?

↓
 私の父は 敵によつて 征服された。

敵に 征服された

(韻律:) Upajāti. arthāturāṇām?

§. 110

9. arthāturāṇām na sukham na bandhuh

kāmāturāṇām na bhayam na lajjā.

vidyāturāṇām na sukham na nidrā.

kṣudhāturāṇām na rucir na pakvam.

sc. annam

?

cf. XVIII, 23 註? 参照